

mori もりもと moto

# おかしはなし

Vol.07 かぐやひめ

おじいさんと  
おばあさんは、  
「かぐやひめ」となづけ  
たいせつにそだてました。



Produced by 2000

Picture Book Time



CREATED BY LEON

introduces

mori  
moto



むかしむかしあるところに、  
おじいさんとおばあさんがすんでいました。

あるひのこと、

いつものようにたけばやしにいくと、

いっほんのひかるたけがありました。

おそろおそろきつてみると、

かわいいおんなのおかんぼうが

たけのなかにいました。

こどもがいなかった

おじいさんとおばあさんは、

「かぐやひめ」となつては

たいせつにそだてました。

やがてそれはそれは、うつくしいむすめになり、

そのうわさをききつけたわかものは、

たからものをもってたずねてきました。

しかしかぐやひめは、

まったくきょうみをしめしません。

それどころかまいよつきをみるたびに、

かなしそうなかおをしていました。

「かぐやひめやなぜそんなにかなしいのじゃ。」

「じつはわたしはつきでうまれました。」

あしたむかえがきて、つきにかえらなければなりません。」

「ほほほんとうか...」

よくじつ、おじいさんはたくさんのぶしをよび、

かぐやひめをひっしにまもろうと

じゅんびしました。

やがてそらがまっくらになり、

つきがやまのうえにかおをだすと、

びかっときんいろのひかりが

あらわれました。

ぶしたちはいっせいに

やをはなちましたが、

みなちからをうしない

ねむりにおちてしまいました。

いえのうえにきた

まばゆいひかりは、

かぐやひめをつつみこみ、

つきへとつれてかえってしまいました。

おじいさんとおばあさんは、ただただ

みていることしかできませんでした。

おしまい

## sora's profile

北海道を拠点として活動する、絵本作家、イラストレーター。イラストによる絵本、そらが制作したフェルトぬいぐるみを撮影したピクチャーブック、キャラクター開発などを手掛ける。また、自身の絵本による、子どもたちへの読み聞かせやライブペインティング、絵本作家としての講演や、テレビラジオ・雑誌などへの出演などの活動も展開。



## かぐやひめの感想

散歩をしていると、ススキが頭を垂れる姿をみかけたり、秋の匂いを感じるようになりました。もうすぐ十五夜ですね。今回のおかしな話は、月を見て思い出す「かぐや姫」。娘を無心で守りたい、そばに置いておきたいと思う親の心は、いつの時代も変わらないものですね。お月見は、月を眺めながら、団子やまんじゅうを食べて、風情を楽しむのが好きです。月でうさぎが餅つきしていると、よくはしゃぎました。日本人らしい季節の文化を、改めて大切に思う今日この頃です。



Published by 2010  
Picture Book Series





morimoto

お月見の  
おかし

# おがしずかん

## まんじゅう うさぎ饅頭

焼印の耳と目をつけて月のうさぎにみたてたもの。すりおろしたつくね芋に小麦粉とうるち米の粉をあわせた生地で餡をつつみ、蒸しあげたおかし。



## まめ だい ふく 豆大福

豆大福は、やわらかなお餅で餡をつつみこんだ、黒豆の風味をあげわえるおかし。お月見はもともと、里芋や豆類をおそなえて収穫に感謝する行事です。

〈監修：農学博士 加藤淳〉